

《基本理念》医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること

2018. 9～10

TORANOMON
VOL. 166

とらのもん

URL : <http://www.toranomon.gr.jp>



本院治験
公開講座

『白血病治療の現状について』

日時：2018年9月15日（土）14:00～15:30

場所：本院 本館3階 講堂（入場無料）開場13:00

講師：血液内科 部長 内田 直之



本院
公開講座

日時：2018年11月3日（土）14:00～15:30

場所：本院 本館3階 講堂（入場無料）開場13:00

講師：産婦人科 部長 有本 貴英



お知らせ

上記の公開講座は、諸般の事情により、変更・延期・中止になることがございます。お電話・ホームページ等で開催の有無をご確認ください。

外来の予約内容の確認が当院のホームページから出来ます。
何かご不明な点がございましたら、予約センターまでお願いします。

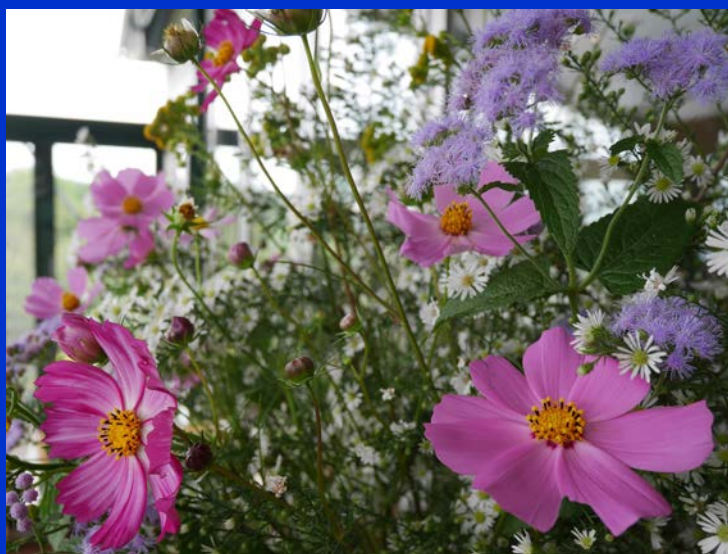
【本院 中央採血室からのお知らせ】

現在、中央採血室がたいへん混雑して御迷惑をおかけしております。

午後の2時以降が比較的空いています。主治医とご相談の上、可能な場合は午後の採血をお勧めいたします。

今月の特集

- 本院 公開講座
『白血病治療の現状について』
- 連携医療機関のご紹介
～銀座しまだ内科クリニック～
～アイシークリニック～
- がん相談窓口からのお知らせ
渡邊五朗先生（元 副院長）より
- 新病院建設状況について



『コスモス』



国家公務員共済組合連合会
虎の門病院
TORANOMON HOSPITAL

【虎の門病院 本院】
☎03-3588-1111（代）

【虎の門病院 分院】
☎044-877-5111（代）

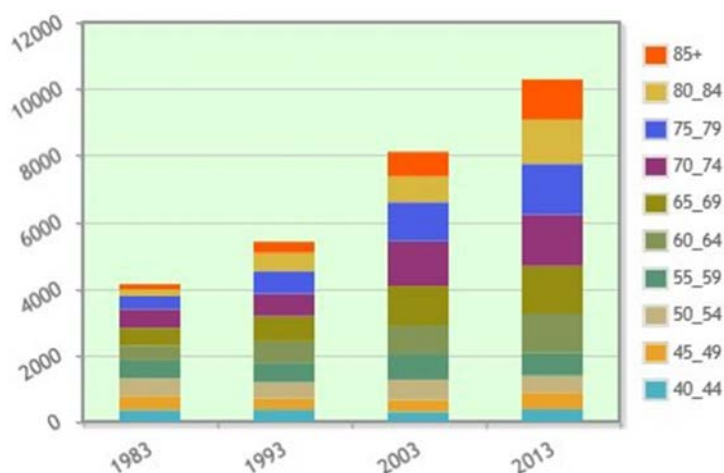
【さいたま診療所】
☎048-601-1347

1. 白血病はどんな病気？

白血病は、がん全体の約1.4%と頻度の低い病気です。多くの人にとって馴染みの薄い病気かもしれません。3大がんである胃がん・肺がん・大腸がんの約1/10、前立腺がん（男性のみ）の約1/10、乳がん（女性のみ）の約1/20の頻度です。血液の生産工場である骨髄中に、白血病細胞が出現し、増殖することによって正常造血が抑制され、正常な血液細胞（白血球、赤血球、血小板）が減少します。中でも一番厄介なのは正常な白血球が減ることです。肺炎や敗血症などの重篤な感染症を併発する恐れがあります。また、白血病細胞が内臓に浸潤し、その臓器の働きを侵すことがあります。白血病は、慢性・急性、骨髄性・リンパ性などに分類され、それぞれ経過や治療法は異なります。白血病は若い方でも起こりますが、年齢が高いほど発症率が高くなります。近年人口の高齢化に伴い、白血病患者さんの数は少しずつ増えています（図1）。

図1. 本邦の白血病の罹患者数年次推移

（国立がん研究センターがん対策情報センター<https://ganjoho.jp>）



血液内科 部長

内田 直之 平成5年卒



<専門分野>

血液内科

<資格・所属学会等>

- 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
- 日本血液学会 血液専門医・指導医
- 日本造血細胞移植学会 評議員

2. 治療の基本は化学療法

白血病と診断されたら、全員がすぐ治療が必要という訳ではありません。特に“慢性”白血病はゆっくりと経過し、治療を要さない場合も多くあります。その中で「慢性骨髄性白血病」は、白血病細胞が持つ異常遺伝子の働きを標的とした薬剤（分子標的薬）の開発が成功し、飲み薬で、しかも外来で通常的生活や仕事を続けたままでの治療が可能となりました。

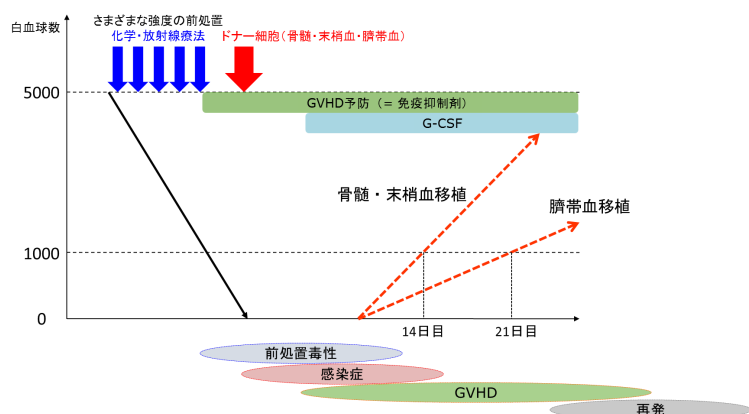
一方“急性”白血病は、短期間で進行するケースが多く、早期に治療が必要です。病気が診断された時点で白血病細胞は全身の血液に広がっていますので、治療の基本は抗がん剤による化学療法になります。治療薬によって白血病細胞だけでなく正常な血液細胞も一時的に減るため、入院での治療が必要です。

3. 化学療法が効かない場合は、同種造血細胞移植(骨髄移植など)が行われます

化学療法で治癒できない場合に、同種造血細胞移植が行われます。“同種”とは血縁者・非血縁者を含む自分以外のドナーから移植することです。大量抗がん剤・放射線（移植前処置）で体内の白血病細胞を正常細胞もろともせん滅させたのち、他人（ドナー）から提供された骨髄・末梢血・臍帯血などを血管内に注入します。

ドナーの細胞が骨髄に生着し、正常血液細胞を産生・供給すると同時に、免疫反応を起こして白血病細胞を攻撃します。一方で、大量の薬剤使用による臓器障害や、免疫力低下に伴う感染症、及びドナー細胞が患者さんの正常な臓器を攻撃する移植片対宿主病（GVHDと呼ばれます）による臓器障害など、治療に伴う体への負担が大きい点が問題となります（図2）。

図2. 同種造血細胞移植の一般的な経過



かつてはドナーが見つからない、強力な移植前処置に耐えられないなどの理由で移植が受けられない場合もありましたが、近年のドナー種類の多様化、及び移植前処置法の改良による毒性軽減により、本邦の移植実施件数は10年前の1.5倍ほどに増加しました。現在国内で年間3500件を超える同種移植がなされています。特に臍帯血移植は日本で最も多く実施されており、全世界の臍帯血移植の1/3がなされています。

4. 新薬開発の必要性和治験センターについて

白血病細胞が、正常細胞が持たない遺伝子異常などを有することが明らかになり、より白血病細胞に選択的に効果を発揮する薬剤の開発が求められています。虎の門病院では、将来治療上有望な薬剤の有効性、安全性を検証する治験に積極的に参加しています。

5. 終わりに

同じ「白血病」でも、経過や治療方法は様々です。数十年前は根治が難しかった急性白血病も、抗がん剤、同種造血細胞移植、及び感染症治療など支持療法の発達により、治療できる疾患になりました。さらなる治療率向上と、治療の侵襲（負担）軽減への挑戦が、現在も続いています。

～詳しくは公開講座へ～ 虎の門病院 本院公開講座

日時：9月15日（土）14時～15時30分
場所：虎の門病院本院 本館3階講堂

虎の門病院では定期的に一般の方向けの公開講座を開催しています。

どなたでも（虎の門病院を受診していない方でも）ご参加いただけます。

講師は虎の門病院所属の医師が担当し、講演後には質問もお受けいたします。

申し込み不要・入場無料、皆さまのご参加をお待ちしております。

虎の門病院 公開講座

検索

公開講座はDVD化しています。

DVDは本館8階にある患者図書室で入院患者さんを対象に1泊2日でレンタルしています。外来患者さんは、図書室内でご覧になることができます。（イヤホンをご持参ください）。

また、当院のホームページに、過去の公開講座の動画の一部を掲載しております。



院長 ご挨拶

私は女子医大肝臓班にて非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)をライフワークに診療してきました。今まで学んだことをより多くの患者様にご提供させていただきたいと開業したあともそのスタイルは変わっておりません。生活習慣病としてのNASH、脂肪肝、肥満、糖尿病に特化した診療は非常に難易度が高く、病態把握に必須となる肝の線維化(進展度)を肝硬度にて測定できるエコー「肝フィブロスキャン」が重要な検査の一つです。当院は肥満の方に対応した「XLプローブ」もご用意している数少ない施設です。

虎の門病院 肝臓内科の先生方には大変お世話になっており、診療に苦慮したときなど最善の診断・治療を行っていただいております。脂肪肝が気になる方はどうぞお気軽にご相談ください。

●ドクター紹介



院長 島田昌彦
(しまだ まさひこ)

＜資格＞

日本肝臓学会専門医
日本肥満学会専門医
日本糖尿病協会療養指導医
日本消化器内視鏡学会専門医/指導医

＜経歴＞

平成8年 金沢医科大学卒業
平成8年 東京女子医科大学消化器内科
平成16年 金沢医科大学消化器内科 准講師
平成22年 米国バージニア州立大学(VCU)
消化器・代謝内科留学
平成24年 東京女子医科大学八千代医療センター消化器内科
(現：非常勤講師)
平成28年10月 銀座しまだ内科クリニック 院長
(渡辺内科クリニックからの継承)

【診療時間】ご予約をお待ちしております。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:30~13:30	○	○	○	○	○	—	—
15:00~18:00	○	○	○	○	○	—	—

※最終受付時間は新患の場合は診療時間の30分前となっております。

※平成30年10月1日からは1、3、5週の土曜午前に肝疾患予約外来も開始します。お電話でご予約ください。土曜診療は予約外来のみとなります。

【休診日】土曜日、日曜日、祝日、第2火曜日午後

【アクセス】

新橋駅3分、銀座駅5分、内幸町駅6分、
有楽町駅9分、銀座一丁目駅10分



【診療科目】

一般内科・消化器内科・肝臓内科

【院内写真】



(受付)



(診察室)



(肝フィブロスキャン)



(内視鏡)

銀座しまだ内科クリニック

- 〒104-0061 東京都中央区銀座8-4-26イワキビル
(横須賀第6ビル)4階
- 電話 03-3574-9103
- URL <https://w-naika.com>

ご挨拶

アイシークリニック新宿院は、日本形成外科学会形成外科専門医、指導医などの医師達が、チーム医療で皮膚まわりの日帰り手術を保険診療で行っております。粉瘤や脂肪腫などの皮膚良性腫瘍、眼瞼下垂症などの日帰り手術を、開院以来1万件以上実施して参りました。医療機関の先生方におかれましては、下記のような場合、患者様のご紹介をご検討いただけますと幸いです。

- ・外来で忙しく、粉瘤や皮膚良性腫瘍の患者様が受診されても手術予約が取りにくい場合
- ・炎症などで早急に手術を希望されている患者様への対応が悩ましい場合
- ・総合病院や大学病院などの高度医療機関にご紹介するには小さな粉瘤や皮膚良性腫瘍であるなどの場合

〈お知らせ〉2018年8月1日よりJR渋谷駅から徒歩すぐのアイシークリニック渋谷院を開院しました。



●ドクター紹介

青山浩子医師

2003年 京都府立医科大学医学部卒
京都大学医学部附属病院形成外科医局入局
2017年 アイシークリニック入職
日本形成外科学会形成外科専門医

高桑康太医師

2009年 東京大学医学部医学科卒
2017年 当院治療責任者

土屋壮登医師

2009年 東京慈恵会医科大学医学部卒
昭和大学病院形成外科医局入局
2018年 アイシークリニック入職
日本形成外科学会形成外科専門医

吉竹俊裕医師

2005年 高知大学医学部卒
2007年 北里大学病院形成外科・美容外科助教
2018年 アイシークリニック入職
日本形成外科学会形成外科専門医

【診療科目】

形成外科（皮膚の日帰り手術・保険診療のクリニック）

【診療時間】

初診に関しては予約制となりますので、必ず電話もしくはお問い合わせフォームからのご予約をお願い致します。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10時～19時 (14時～15時休診時間) 祝日も診療	○	○	○	○	○	○	○

※最終受付は18時半となっております。

【アクセス】

JR新宿駅南口 徒歩3分



【院内写真】 清潔感にこだわり白を基調とした内装



アイシークリニック新宿院(形成外科、保険診療)

■〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-5-3 イマス葵ビル2階

■電話 0120-780-194

(フリーダイヤル24時間365日対応) Web予約も可能です

■URL <https://ic-med.com>

虎の門病院
がん相談窓口
です

診断時から、ご相談下さい！！

虎の門病院 がん相談窓口では
仕事と治療の両立に関する
ご相談に応じています

就労支援の一環として
様々な取り組みをおこなっています

～院内のポスターやリーフレットも、ご参照下さい～



がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターとして、様々ながん相談に応じています。仕事と治療の両立に関する相談に、両立（復職）支援コーディネーター、がん専門相談員（当院社会福祉士・看護師・心理士）等が、主治医や職場の産業医と連携をとりながら、働き方の相談に応じています。当院以外の専門家（社会保険労務士・ハローワーク就職支援ナビゲーター長期療養者担当・産業保健総合支援センター等）とも連携し対応しています。仕事（継続・休職など）の事で、困りごとがある方は、ぜひご相談下さい。

＊窓口の利用法として、初診時や診断時の早期からのご利用をお勧めしています。
離職前に、ぜひご相談下さい！（離職・求職中の方の相談にも応じています）

直近の予定

～がん患者さんのための
仕事とお金の個別相談会を開催します～

開催時期：10月・12月
対象者：当院がん患者さん
内容：社会保険労務士と、
ファイナンシャルプランナーによる相談会

＊詳しくはがん相談窓口まで。当院がん専門相談員
による事前説明や面談後、予約させていただきます

～がんサロン ハーモニーの会 開催お知らせ～

対象者：がん患者さんとそのご家族向け
時間：14時～15時半 約30分話題提供 約1時間座談会形式
＊9/21 「こころの辛さを和らげる方法」
＊11/16 「がんとつきあいながら働くことを
皆で考えよう」

場所：虎の門病院本院 本館1階 医療連携部
（面談室1）＊詳しくはがん相談窓口まで

当院は、平成30年7月2日付けで、厚労省より
「平成30年度がん患者の仕事と治療の両立支援モデル事業」の
対象病院に選ばれました（全国7拠点病院）

今後も益々、仕事と治療の両立に関する相談に
取り組んでいきます よろしくお願ひします



がん相談窓口には、
がん情報コーナーがあり
「就労支援コーナー」を
設置しています。
他にも様々な情報を
掲示していますので、
ぜひお立ち寄りください。



がん相談窓口
（がん相談支援センター）
のご案内

- 相談時間 月曜日～金曜日
9:00～16:00
＊土・日・祝日・年末年始
開院記念日（5/20）を除く
- 場所 虎の門病院 本院
本館1階 総合相談センター内
- 相談料 無料
- 対象 がんの患者さん・ご家族等
- 相談方法 電話相談・面接相談
＊面接は事前予約が必要です

相談電話番号・お問い合わせ先
☎ 03-3588-1171

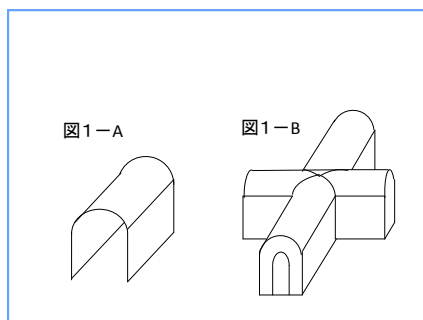
＊がん患者サロン等の開催予定は、
随時、院内掲示板やがん相談窓口情
報コーナーにてご案内しています。

＊がん相談窓口について当院ホーム
ページや院内掲示ポスター・リーフ
レット・紹介カードなどでもご案内
しています。詳しくはがん相談窓口
までお問い合わせください。

ヨーロッパ中世美術への招待－Ⅱ

元虎の門病院 副院長 渡邊 五朗
山王病院消化器センター、国際医療福祉大学教授

前回フランス中東部ブルゴーニュ地方オートンの町の聖堂内の柱頭彫刻につき解説をしました。実はこの聖堂ではもっと有名な彫刻があります。西側入り口の上のアーチ状の部分（タンパン、Tympanと言われる部分）にあり、屋外から見ることでできるものです。ここで聖堂、教会建物の基本的な説明をします。皆さんがよくごらんになっているような教会建物のほとんどは上から見て十字架の形をしています。そして例外はありますが頭の部分が東を向いて、足のほうが西を向いており、頭側すなわち東側に祭壇があって、一般信者は西入口から入ることになります。もっと初期にさかのぼると聖堂は図1-Aのようにかまぼこ型をしていました。石を積み上げた建物ですので、アーチ状の重い天井（半円筒穹窿）を支えるためにしっかりとした壁が必要でした。そのため窓が少ないのが特徴です。これを十字架のように交差させると、穹窿部は交差して図1-Bようになります。この交差部が弱いので補強するとまるで肋骨のような形になり、リブ・ヴォールト（肋骨穹窿、rib vault英、arc d'ogive仏）と呼ばれるようになります。図2のようにヨーロッパの教会の天井を見上げた時によく見かける形です。



(図2)

実はこれが大発見につながります。図1-Bの交差部の正方形の領域は、リブと柱だけで支えられており、壁のない空間です。すなわちこの技術によって他の空間も、柱とリブ・ヴォールトだけの構成単位で作れば壁の少ない建物にできることが分かった瞬間です。そしてこの後のゴシック建築にみられる大きな窓とステンドグラスからなる壁へと発展して、高く美しい教会になっていきます。しかし、高くなれば当然不安定になりますので、もっと外側からの重さを追加する工夫が行われました。図3はパリ・ノートルダム大聖堂の裏側すなわち内陣のある東側を外から眺めた写真です。半円状の内陣を外からまるで蜘蛛の足のように押さえつけている感じがお分かりでしょうか。アーチ状の蜘蛛の足のようなものはフライイング バットレス（飛梁、flying buttress英、arc-boutant仏）と呼ばれ、その異様とも思える美しさに見とれるばかりです。

かなり脱線しました。ブルゴーニュ地方オートンのサン・ラザール大聖堂に戻ります。西正面入り口の半円状の壁（tympan）に彫られた彫刻は、真中にキリストがアーモンド状の背景（マンドルラ）に包まれ、その周りは3段に分かれています。（図4）上段は天上界でマリアや預言者、天使たち。下段の楣（まぐさ）の部分には、死から甦った人々が並び、左側が善人たち、右側が罪人たちを表しています。中央段が主題の「最後の審判」の場面で、キリストの左側に天国に導かれる人々、右側で地獄に落ちようとする様子が描かれています。そもそもキリスト教的には左側が不浄な意味を持つので、キリストにとっての左



(図3)



(図4)



(図5)

側、私たち見る者にとっては向かって右側に地獄が描かれます。この地獄の部分（図5）が最も面白く、大天使ミカエルの控える天秤に手をかけて、その判断を狂わせようとする悪魔。さらに後ろにはその籠に蝦蟇を乗せて重くさ

させようとする悪魔。その右上の悪魔は二人を地獄の釜に押し込もうとしています。その釜の下に地獄の怪物レヴィアタンが地獄の門から顔を出し、人々を引きずりこもうとしています。悪魔たちの口をあけた表情は、恐怖よりもどこか滑稽さを感じてしまいます。その身体は引き延ばされ歪み、左側の人々の整った形とは対照的で、地獄の場面の恐怖と動的な様子が見事に描かれています。上段両脇の天使たちの身体も歪んでいますが、むしろ飛んでいるような動的な表現となっています。ロマネスク彫刻では、前回解説した柱頭のように、限られた枠組みの中での表現であるために、歪んだ身体や形態が良く見られ、学問的には「枠組みの法則」と呼んで、否定的に捉えられる傾向がありました。しかしこのタンパンでは、左側の天国の人々のやや引き延ばされた身体もむしろ静謐に感じられ、全体として地獄の動と天国の静の対照的な空気が意識されて作られており、それが「最後の審判」のドラマチックな描写として完成されていると思います。

このタンパンにはもう一つ興味深いエピソードがあります。キリスト像の足下に「Gislebertus Hoc Fecit（羅）ギスレベルトゥス、我を作りき」と刻まれているために、作家ギスレベルトゥスは「西欧で最も重要な芸術家」、「中世のセザンヌ」と称賛されてきました。（多分ここでセザンヌが出てくるのは、美大系学生がまず構図を学ぶために教材として用いられるセザンヌの「大水浴図」をご覧いただければ成程と思われるでしょう。）もともとロマネスク彫刻で作家名が刻まれることが稀であることでも貴重とされていましたが、ギスレベルトゥスと言う人物の由来は他に資料もなく謎になっていました。最近になってギスレベルトゥスと言う名は、この聖堂の最も基本的な宝であるサン・ラザールの聖遺物の獲得に寄与したオートン伯ジルベールであるとする説が出てきて、作家説が怪しくなっています。ロマネスクは残された資料が少ないことから、研究が少なく、注目され難かった点でも、私にとっての魅力の一つでもあります。

もしパリに行かれる機会があれば、エッフェル塔を正面に見るための有名な場所であるトロカデロ広場（メトロ Trocadero）の地下鉄出口を出たすぐ上、すなわちエッフェル塔を正面に見たすぐ左側の建物がシャイヨー宮の建築・文化財博物館です。この巨大な建物の中に、なんとこのタンパンの複製が実物大で展示されています。ゴシック彫刻も多数展示されており、しかも驚くほど空いていてゆっくり見学できるので、是非立ち寄ってみてください。そうそうノートル・ダムの裏側もお忘れなく。

新病院 完成予想図



総合受付イメージ



外来エリアイメージ

虎の門病院(本院)の建替えを含めた「虎ノ門二丁目地区再開発計画」が東京都により都市計画決定され、新病院竣工に向けて準備が進んでいます。現在は、地上13階建てですが、新病院では地上19階建ての超高層病院となります。

現在は新病院の外観が出来上がり、内装工事を行っているところです。

開院は2019年5月1日予定です。ご期待ください！



建築概要	新病院	現病院
延床面積	約86,000㎡	約60,000㎡
建築物の規模	地上19階、地下3階	本館：地上8階、地下2階 新館：地上13階、地下4階
建築物の高さ	約99m	約60m

人間ドックに関するお問い合わせ

虎の門病院附属 健康管理センター・画像診断センター
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR 5階

TEL **03-3560-7777**

平日 11:00～16:30 (土・日・祝日は休み)



WEB

虎の門病院 人間ドック

検索

<http://www.toranomon-dock.jp/>

スマートフォンの方は
コチラから

当院でセカンドオピニオンの提供を受けたい方へ

他の病院におかかりの患者さんと、ご自分の病状や治療方針について現在おかかりの医師以外の意見をお求めの方へ対し、当院各科専門医（部長・医長クラス）による特別相談をお受けしております。（完全予約制、紹介状必要）

（料金）30分：21,600円（延長15分毎：10,800円追加）

（担当）本院医療連携部 03-3588-1111 内線4106

分院医療連携部 044-877-5111 内線5141